

はじめの一步①

8月10日(土) ~ 8月11日(日)

I N 明石市立少年自然の家

	午前	午後	夜
1日目	施設まで移動	海遊び	キャンプファイヤー
2日目	清掃・野外炊飯	施設を出発・解散	

一日目： 真夏の日差しが照り付ける中、小さな体に大きな荷物を抱えたメンバーが集まりました。お見送りの親御様から盛大に見送っていただき、キャンプが始まりました。各集合場所から明石駅に集い、施設へ向かいました。緊張と暑さと荷物の重さで表情が曇っていましたが、施設に到着し、お弁当を食べると元気を取り戻しておられました。部屋に入り、海へ行く格好に着替えて海遊びへ出発しました。水しぶきを立てながら縦横無尽に泳いだり、手を繋ぎながら恐る恐る進んだり、砂浜でトンネルをつくったり、海遊びを通して緊張が解れ、グループの友達との距離が一気に縮まったようでした。施設に戻り、着替えや片付けを終えると、施設の方に教えていただいた事を思い出しながらシーツの準備をしました。大きなシーツを扱う事に大苦戦でしたが、グループで協力して敷いておられました。その後、夕食を済ませ、海遊びをした浜辺でキャンプファイヤーを楽しみました。大人数でのキャンプファイヤーはダンスやゲームの迫力が増し、とても盛り上がりました。一日目の全体プログラム終了後、お風呂に入り、各部屋で就寝しました。



二日目： 朝から元気な声が聞こえてきました。身支度や荷物の片付け、布団畳みとやる事が沢山ありましたが、自分ができる事を見つけて頑張っておられました。二日目は朝食、昼食共に自分達で作りました。朝食は『ホットサンド』、昼食は『カレーライス』を作りました。作り方を確認し、一人ずつハムやチーズ等を受け取って食パンに挟み、サンドイッチを温める為にアルミホイルや牛乳パックを利用しました。口の周りにケチャップが付いていてもお構いなしといった様子で完食し、荷物の移動や部屋の清掃に取り掛かりました。「来た時よりも美しく」という言葉を繰り返しながら隅々まで掃除しました。そして、朝から楽しみにしていた野外炊飯が始まりました。かまど係とカレー係のどちらかやりたい方を選び、係ごとに進めました。かまど係は燃料となる枝を拾い、燃えやすい順番を考えながら薪を組みました。カレー係は、ピーラーや包丁を慎重に使い、見本の大きさに近づくように具材を切りました。火をおこし、具材等が入ったお鍋をかまどに置くとみんながかまどの前に集まり、出来上がりを心待ちにしておられました。完成したカレーはとても美味しく、ペロリと完食しました。食後の洗い物では、さすがに疲れた表情が見られましたが、根気強くお皿やお鍋を磨いておられました。施設を出発する時間になり行き来た道のりを歩いて戻りました。電車の座席に座ると一気に眠気が襲ってきたようで、降車駅に到着するまでぐっすり眠っておられました。



<キャンプ総括>

今年も集合から解散まで賑やかに駆け抜けました。初めてばかりの中で不安が大きかったと思いますが、一人一人の「楽しみたい!」という気持ちが拡がり、全員で元気に二日間を終える事が出来ました。メンバーの数だけ沢山の挑戦が生まれ、同じ様にメンバーの数だけ苦戦する姿も見られました。一生懸命という言葉では物足りない程頑張った二日間が、自信に繋がっていると嬉しいです。親御様にとっても初めての『はじめの一步』キャンプ。メンバーの荷物一つ一つから親御様の思いを感じ、私達のパワーになりました。温かく送り出してください、ありがとうございました。また次の一步も楽しみにしております! (生本 ひろみ)